

● 氾濫をできるだけ防ぐ
・ 減らすための対策

河川区域 集水域

ためる、しみこませる

[国、県、市町、企業、住民]
雨水貯留浸透施設の整備、
田んぼやため池等の治水利用

⇒ 霞堤の保全、
ため池改修、事前放流
・ 低水位管理、
間伐等の森林整備

ためる

[県、関西電力]
利水ダム等において貯留水を
事前に放流し、水害対策
に活用

⇒ 椿山ダムでの事前放流、
農業用樋門の治水運用

[県、市町]
遊水地等の整備・活用

安全に流す

[県、市町、企業]
河床掘削、砂防堰堤、雨水
排水施設等の整備

⇒ 日高川などの治水対策、
砂防堰堤、溪流保全、
山腹工、溪間工 など

氾濫水を減らす [県]

「粘り強い堤防」を目指した
堤防強化等

● 被害対象を減少させるための対策

集水域 氾濫域

よりリスクの低いエリアへ誘導/住まい方の工夫

[県、市町、企業、住民]
土地利用規制、誘導、移転促進
不動産取引時の水害リスク情報提供、金融による誘導の検討
⇒ 宅建業法改正 水害リスク情報の重要事項説明が義務化
農振地域の農転の監視
まちづくりでの活用のための多段階の浸水想定区域図の作成
被害範囲を減らす [県、市町]
二線堤等の整備 ⇒ 二線堤の保護



● 被害の軽減、早期復旧

・ 復興のための対策 氾濫域

土地のリスク情報の充実 [県]

水災害リスク情報の空白地帯解消等
⇒ 水害リスク空白域の解消
(支川等における浸水想定区域
図の作成)

避難体制を強化する [県、市町]

長期予測の技術開発、
リアルタイム浸水・決壊把握、
防災情報の充実
⇒ 水位計・監視カメラの設置、
ハザードマップの作成・周知、
タイムラインの作成・運用、
避難場所の安全レベル設定、
防災ナビアプリの普及啓発

経済被害の最小化 [県、企業、住民]

工場や建築物の浸水対策、BCPの策定
⇒ BCP策定ワークショップ開催

住まい方の工夫 [企業、住民]

不動産取引時の水害リスク情報提供、
金融商品を通じた浸水対策の促進
⇒ 宅建業法改正 水害リスク情報
の重要事項説明が義務化

氾濫水を早く排除する

[国、県、市町等]
排水門等の整備、排水強化
⇒ 排水ポンプ車、可搬式ポンプ

支援体制を充実する [国、企業]

官民連携によるTEC-FORCEの体制
強化

※今後の調査・検討等により変更となる場合がある

日高川流域治水プロジェクト

～日本一長い二級水系での流域治水～

二級水系 流域治水プロジェクト

○日高川流域においては、平成15年8月台風10号と同規模の水災害による被害を軽減するための治水対策を行うとともに、流域における事前防災対策を推進し、浸水被害の軽減を図る。

【位置図】



■事業規模
河川対策(約90億円)

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

洪水氾濫対策

日高川(堤防整備、河道掘削、護岸工)、
西川(堤防整備、河道掘削、護岸工、樋門改築)、
齊川(堤防整備、河道掘削、護岸工)、堂閉川(河川の付替、護岸工)、
下川(放水路)、東裏川(護岸工)、志賀川(護岸工)

土砂災害対策

- 砂防堰堤工、溪流保全工 ●横ボーリング工
- 山腹工 ●溪間工

流水の貯留機能の拡大

- 椿山ダムにおける事前放流の実施 ●農業用樋門の治水運用

流域の雨水貯留機能の向上

- ため池改修、事前放流・低水位管理
- 間伐等の森林整備 ●霞堤の保全

■被害対象を減少させるための対策

水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫

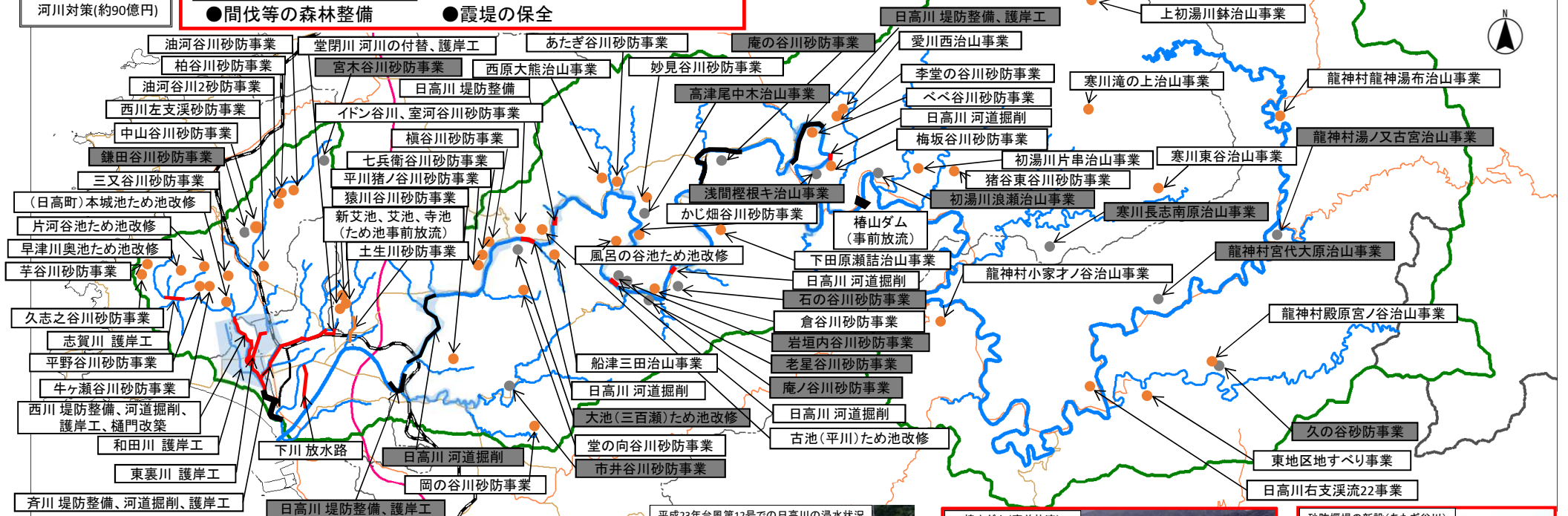
- 農振地域の農転の監視 ●土地利用規制の検討
- まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害リスク情報の充実
- まちづくり活用のための多段階の浸水想定区域図の作成
- 浸水範囲の限定・氾濫水の制御 ●二線堤の保護

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

土地の水害リスク情報の充実 ●水害リスク空白域の解消(支川等における浸水想定区域図の作成)

あらゆる機会を活用した水災害リスク情報の提供

- 水位計・監視カメラ等の設置・増設 ●防災教育や避難訓練等の実施
- 避難体制等の強化 ●洪水ハザードマップの作成・周知 ●タイムラインの作成・運用
- 避難場所の安全レベル設定や和歌山県防災ナビアプリの普及啓発等による迅速な避難行動の促進
- 避難所の安全対策、誘導體制等の構築・強化
- 避難時間確保のための体制等の構築・強化
- 経済被害の軽減 ●排水ポンプ車、可搬式ポンプの配備



凡例

- 流域界
- 河川における対策
- 河川における対策(完了)
- 流域における対策
- 流域における対策(完了)
- 浸水範囲(本川:平成15年8月台風10号に対する想定氾濫解析結果 支川:過去に被害をもたらした降雨)

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

平成23年台風12号での日高川の浸水状況(日高郡日高川町)



椿山ダム(事前放流)



砂防堰堤の新設(あたぎ谷川)



日高川流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～日本一長い二級水系での流域治水～

● 日高川流域では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市町等が一体となって、「流域治水」を推進する。

【短期】

- ・ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策として、日高川本川および支川での堤防整備、河道掘削等を行い、西川(和田川合流点まで)の河川改修の概成を行い、治水安全度の向上を図る。また、樺山ダムやため池などにおいて、貯留水を事前放流し、水災害対策に活用する。
- ・ 被害対象を減少させるための対策として、農振地域の農転の監視やまちづくり活用のための多段階の浸水想定区域図の作成を行う。また、まちづくりの検討を行い、土地利用規制の検討を行う。
- ・ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策として水害リスク空白域の解消のため、支川等の浸水想定区域図、洪水ハザードマップ作成を行う。

【中長期】

- ・ 日高川水系河川整備計画に基づく、計画規模の改修を完了させ、流域全体の治水安全度の向上を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程	
			短期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	堤防整備、河道掘削(日高川、西川、齊川、堂閉川、下川等)、民間砂利採取	和歌山県、田辺市、企業	西川(日高川合流点～和田川合流点)の概成 民間砂利採取を実施	河川整備計画に基づく改修(日高川、西川、堂閉川、齊川、下川)
	砂防堰堤工、溪流保全工、法面工、地下水排除工	和歌山県	あたぎ川砂防事業など31箇所の整備	砂防関係施設の整備
	山腹工、溪間工	和歌山県	愛川西治山事業など6箇所の整備	治山施設等の整備
	樺山ダムにおける事前放流の実施	和歌山県、関西電力	平成24年6月より運用している樺山ダムにおける事前放流の実施	
	農業用樋門の治水運用	美浜町	農業用樋門(和田川樋門)の治水目的の運用を実施	
	ため池改修、事前放流・低水位管理	和歌山県、日高川町	風呂の谷池ため池改修など5箇所の改修 ため池の事前放流・低水位管理の啓発	ため池の改修
	間伐等の森林整備	森林整備センター、森林管理署、和歌山県	間伐等の森林整備を実施	
	霞堤の保全	和歌山県、御坊市	霞堤の保全を実施	
被害対象を減少させるための対策	農振地域の農転の監視	美浜町、日高町	農振地域の農転の監視を実施	
	土地利用規制の検討	和歌山県、御坊市、田辺市、美浜町、日高町、日高川町	まちづくりの検討を行い、土地利用規制の検討を実施	
	まちづくり活用のための多段階の浸水想定区域図の作成	和歌山県	まちづくり活用のための多段階の浸水想定区域図の作成	
	二線堤の保護	和歌山県、御坊市	二線堤の保護の実施	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水害リスク空白域の解消(支川等における浸水想定区域図の作成)	和歌山県	支川等における浸水想定区域図の作成	
	水位計・監視カメラ等の設置・増設	和歌山県、美浜町、日高町、日高川町	日高川の必要な箇所に監視カメラを設置 河川水位情報や河川カメラ映像の提供を実施	
	防災教育や避難訓練等の実施	和歌山県、御坊市、田辺市、美浜町、日高町、日高川町、気象台	防災教育や避難訓練等の実施	
	洪水ハザードマップの作成・周知	和歌山県、御坊市、田辺市、美浜町、日高町、日高川町	洪水ハザードマップの作成 洪水ハザードマップの周知・啓発	
	タイムラインの作成・運用	和歌山県、御坊市、美浜町、日高町、日高川町	令和2年に作成したタイムラインの見直し及び適切な運用の実施	
	避難場所の安全レベル設定や和歌山県防災ナビアプリの普及啓発等による迅速な避難行動の促進	和歌山県	避難場所の安全レベルの設定 防災ナビアプリの普及啓発の実施	
	避難所の安全対策、誘導体制等の構築・強化	御坊市、田辺市、美浜町、日高町、日高川町	避難所の安全対策、誘導体制等の構築・強化	
	避難時間確保のための体制等の構築・強化	御坊市、田辺市、美浜町、日高町、日高川町	避難時間確保のための体制等の構築・強化	
排水ポンプ車、可搬式ポンプの活用	和歌山県、御坊市	配備済みの排水ポンプ車、可搬式ポンプの活用		

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。